

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6246805号
(P6246805)

(45) 発行日 平成29年12月13日 (2017.12.13)

(24) 登録日 平成29年11月24日 (2017.11.24)

(51) Int. Cl.	F I
G 0 6 F 13/00 (2006.01)	G 0 6 F 13/00 5 6 0 A
H 0 4 N 5/93 (2006.01)	H 0 4 N 5/93
H 0 4 N 9/87 (2006.01)	H 0 4 N 9/87

請求項の数 18 (全 17 頁)

(21) 出願番号	特願2015-520469 (P2015-520469)	(73) 特許権者	502208397
(86) (22) 出願日	平成25年6月26日 (2013.6.26)		グーグル エルエルシー
(65) 公表番号	特表2015-535964 (P2015-535964A)		アメリカ合衆国 カリフォルニア州 94
(43) 公表日	平成27年12月17日 (2015.12.17)		043 マウンテン ビュー アンフィシ
(86) 国際出願番号	PCT/US2013/047918		アター パークウェイ 1600
(87) 国際公開番号	W02014/004686	(74) 代理人	100108453
(87) 国際公開日	平成26年1月3日 (2014.1.3)		弁理士 村山 靖彦
審査請求日	平成27年2月5日 (2015.2.5)	(74) 代理人	100064908
(31) 優先権主張番号	61/664,689		弁理士 志賀 正武
(32) 優先日	平成24年6月26日 (2012.6.26)	(74) 代理人	100089037
(33) 優先権主張国	米国 (US)		弁理士 渡邊 隆
(31) 優先権主張番号	13/927,864	(74) 代理人	100110364
(32) 優先日	平成25年6月26日 (2013.6.26)		弁理士 実広 信哉
(33) 優先権主張国	米国 (US)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 スライドショーを作成するためのシステムおよび方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータ可読記憶媒体であって、1つまたは複数のプロセッサによって実行されると、

1つまたは複数のコンピューティングデバイスを使用して、特定のイベントに対応するイベントページを生成するステップであって、前記イベントページがソーシャルネットワークと関連付けられる、ステップと、

前記ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーに、前記イベントページへのアクセスを許可するステップと、

前記ソーシャルネットワークの前記1人または複数のメンバーから、前記イベントページにおいて少なくとも1つの写真を前記イベントの間に受け取るステップと、

前記イベントページに前記少なくとも1つの写真を表示させるステップと、

前記少なくとも1つの写真をスライドショーとして見るためのオプションを、前記1人または複数のメンバーの少なくとも1人に与えるステップと、

前記イベントページにおいて受け取られた前記少なくとも1つの写真に少なくとも一部基づいて、前記スライドショーを生成するステップであって、前記スライドショーを生成するステップは、

前記スライドショーにかかる時間の長さ、写真あたりの表示の時間、および受信した写真の数に基づいて、前記時間の長さ内に収めるには写真が多すぎるかどうかを決定するステップと、

10

20

前記時間の長さ内に収めるには写真が多すぎるとの決定に基づいて、1つまたは複数の写真を省略して前記スライドショーを生成するステップと、

前記時間の長さ内に収めるには写真が少なすぎるとの決定に基づいて、前記写真あたりの表示の時間を長くして前記スライドショーを生成するステップと、
を含む、ステップと、

前記イベントページに前記スライドショーの少なくとも一部分を表示するステップと、
を含む処理を前記1つまたは複数のプロセッサに実行させる命令を記憶する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項2】

コンピュータにより実施される方法であって、

1つまたは複数のコンピューティングデバイスを使用して、特定のイベントに対応するイベントページを生成するステップであって、前記イベントページがソーシャルネットワークと関連付けられる、ステップと、

前記ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーに、前記イベントページへのアクセスを許可するステップと、

前記ソーシャルネットワークの前記1人または複数のメンバーから、前記イベントページにおいて少なくとも1つの写真を前記イベントの間に受け取るステップと、

前記イベントページに前記少なくとも1つの写真を表示させるステップと、

前記イベントページにおいて受け取られた前記少なくとも1つの写真に少なくとも一部基づいて、スライドショーを生成するステップであって、前記スライドショーを生成するステップは、

前記スライドショーにかかる時間の長さ、写真あたりの表示の時間、および受信した写真の数に基づいて、前記時間の長さ内に収めるには写真が多すぎるかどうかを決定するステップと、

前記時間の長さ内に収めるには写真が多すぎるとの決定に基づいて、1つまたは複数の写真を省略して前記スライドショーを生成するステップと、

前記時間の長さ内に収めるには写真が少なすぎるとの決定に基づいて、前記写真あたりの表示の時間を長くして前記スライドショーを生成するステップと、
を含む、ステップと、

を含む、コンピュータにより実施される方法。

【請求項3】

前記少なくとも1つの写真が前記イベントの間に表示される、請求項2に記載のコンピュータにより実施される方法。

【請求項4】

前記イベントページにスライドショー生成オプションを設けるステップをさらに含む、請求項2に記載のコンピュータにより実施される方法。

【請求項5】

前記イベントページにおいて前記少なくとも1つの写真を受け取るステップが、前記ソーシャルネットワークの複数の前記1人または複数のメンバーから前記少なくとも1つの写真を受け取るステップを含む、請求項2に記載のコンピュータにより実施される方法。

【請求項6】

前記少なくとも1つの写真が前記イベントの後に表示される、請求項2に記載のコンピュータにより実施される方法。

【請求項7】

前記少なくとも1つの写真と関連付けられる社会的なコメントを有効にするステップをさらに含む、請求項2に記載のコンピュータにより実施される方法。

【請求項8】

前記ソーシャルネットワークの前記1人または複数のメンバーの限定された部分集合に対して、前記イベントページへのアクセスを許可するステップをさらに含む、請求項2に記載のコンピュータにより実施される方法。

10

20

30

40

50

【請求項 9】

プロセッサおよびメモリを含むコンピューティングシステムであって、

1つまたは複数のコンピューティングデバイスを使用して、特定のイベントに対応するイベントページを生成するステップであって、前記イベントページがソーシャルネットワークと関連付けられる、ステップと、

前記ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーに、前記イベントページへのアクセスを許可するステップと、

前記ソーシャルネットワークの前記1人または複数のメンバーから、前記イベントページにおいて少なくとも1つの写真を前記イベントの間に受け取るステップと、

前記イベントページに前記少なくとも1つの写真を表示させるステップと、

前記イベントページにおいて受け取られた前記少なくとも1つの写真に少なくとも一部基づいて、スライドショーを生成するステップであって、前記スライドショーを生成するステップは、

前記スライドショーにかかる時間の長さ、写真あたりの表示の時間、および受信した写真の数に基づいて、前記時間の長さ内に収めるには写真が多すぎるかどうかを決定するステップと、

前記時間の長さ内に収めるには写真が多すぎるとの決定に基づいて、1つまたは複数の写真を省略して前記スライドショーを生成するステップと、

前記時間の長さ内に収めるには写真が少なすぎるとの決定に基づいて、前記写真あたりの表示の時間を長くして前記スライドショーを生成するステップと、

を含む、ステップと、

を含む動作を実行するように構成される、コンピューティングシステム。

【請求項 10】

前記少なくとも1つの写真が前記イベントの間に表示される、請求項9に記載のコンピューティングシステム。

【請求項 11】

前記動作が、前記イベントページにスライドショー生成オプションを設けることを含むさらなる処理を実行するように構成される、請求項9に記載のコンピューティングシステム。

【請求項 12】

前記イベントページにおいて前記少なくとも1つの写真を受け取るステップが、前記ソーシャルネットワークの複数の前記1人または複数のメンバーから前記少なくとも1つの写真を受け取るステップを含む、請求項9に記載のコンピューティングシステム。

【請求項 13】

前記少なくとも1つの写真が、少なくとも一部、前記少なくとも1つの写真を表示する方式を決定するように構成される、写真表示論理に基いて表示される、請求項9に記載のコンピューティングシステム。

【請求項 14】

前記写真表示論理が写真省略論理を含む、請求項13に記載のコンピューティングシステム。

【請求項 15】

前記少なくとも1つの写真が、イベントの名前、提供者の名前、提供者の画像、作成時間、および作成の相対的な時間のうちの1つまたは複数の表示を含む、請求項9に記載のコンピューティングシステム。

【請求項 16】

前記少なくとも1つの写真が前記イベントの後に表示される、請求項9に記載のコンピューティングシステム。

【請求項 17】

前記動作が、前記少なくとも1つの写真と関連付けられる社会的なコメントを有効にすることを包含するさらなる処理を実行するように構成される、請求項9に記載のコンピューテ

10

20

30

40

50

イングシステム。

【請求項18】

前記時間の長さ内に収めるには写真が多すぎると決定することは、前記写真あたりの表示の時間が前記受信した写真の数で割った前記スライドショーにかかる前記時間の長さ未満であることを決定することを含む、請求項2に記載のコンピュータにより実施される方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本開示はスライドショーの作成に関し、より具体的には、スライドショーのリアルタイム作成のための方法に関する。

【0002】

[関連出願の相互参照]

本出願は、2012年6月26日に出願された出願番号第61/664,689号を有する米国仮出願、および2013年6月26日に出願された出願番号第13/927,864号を有する米国出願の利益を主張し、これらの内容の全体が参照によって本明細書に組み込まれる。

【背景技術】

【0003】

スライドショーの作成は時間のかかる作業であることが多く、この作業は、複数の人々が画像を提供すること、および/または所望の効果のためにスライドショーのレイアウトを構築することを伴い得る。いくつかの場合には、特定のイベントの間などに、複数の人々が写真を撮り、それらを提供し合って1つに取りまとめることもある。これらの写真のすべてを分析することは、そのイベントが終わった後に行われ、通常はかなりの時間および労力を必要とする。

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】

【0004】

ある実装形態では、コンピュータにより実施される方法は、1つまたは複数のコンピューティングデバイスを使用して、特定のイベントに対応するイベントページを生成するステップを含んでよく、このイベントページはソーシャルネットワークと関連付けられる。方法はまた、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーに、イベントページへのアクセスを許可するステップを含み得る。方法はさらに、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーから、イベントページにおいて少なくとも1つの写真を受け取るステップと、イベントページにその少なくとも1つの写真を表示するステップとを含み得る。方法はまた、その少なくとも1つの写真をスライドショーとして見るためのオプションを、1人または複数のメンバーの少なくとも1人に与えるステップを含み得る。方法はさらに、イベントページにおいて受け取られた少なくとも1つの写真に少なくとも一部基づいて、スライドショーを生成するステップと、イベントページにそのスライドショーの少なくとも一部分を表示するステップとを含み得る。

【0005】

別の実装形態では、コンピュータにより実施される方法は、1つまたは複数のコンピューティングデバイスを使用して、特定のイベントに対応するイベントページを生成するステップを含んでよく、このイベントページはソーシャルネットワークと関連付けられる。方法はまた、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーに、イベントページへのアクセスを許可するステップと、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーから、イベントページにおいて少なくとも1つの写真を受け取るステップとを含み得る。方法はまた、イベントページにその少なくとも1つの写真を表示するステップと、イベントページにおいて受け取られた少なくとも1つの写真に少なくとも一部基づいてスライドショーを生成するステップとを含み得る。

【0006】

以下の特徴の1つまたは複数が含まれ得る。いくつかの実施形態では、表示するステップはイベントの間に行われ得る。方法はまた、イベントページにスライドショー生成オプションを設けるステップを含み得る。いくつかの実施形態では、イベントページにおいて少なくとも1つの写真を受け取るステップは、ソーシャルネットワークの複数の1人または複数のメンバーから少なくとも1つの写真を受け取るステップを含み得る。いくつかの実施形態では、表示するステップは、少なくとも1つの写真を表示する方式を決定するように構成される、写真表示論理に少なくとも一部基づき得る。いくつかの実施形態では、写真表示論理は写真省略論理を含み得る。少なくとも1つの写真は、イベントの名前、提供者の名前、提供者の画像、作成時間、作成の相対的な時間のうちの1つまたは複数の表示を含み得る。いくつかの実施形態では、表示するステップはイベントの後に行われ得る。方法は、少なくとも1つの写真と関連付けられる社会的なコメントを有効にするステップを含み得る。方法はさらに、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーの限定された部分集合に対して、イベントページへのアクセスを許可するステップを含み得る。

【0007】

別の実装形態では、コンピューティングシステムは、1つまたは複数のコンピューティングデバイスを使用して、特定のイベントに対応するイベントページを生成するステップを含む動作を実行するように構成される、プロセッサおよびメモリを含み、このイベントページはソーシャルネットワークと関連付けられる。動作はまた、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーに、イベントページへのアクセスを許可するステップと、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーから、イベントページにおいて少なくとも1つの写真を受け取るステップとを含み得る。動作はまた、イベントページにその少なくとも1つの写真を表示するステップと、イベントページにおいて受け取られた少なくとも1つの写真に少なくとも一部基づいてスライドショーを生成するステップとを含み得る。

【0008】

以下の特徴の1つまたは複数が含まれ得る。いくつかの実施形態では、表示するステップはイベントの間に行われ得る。動作はまた、イベントページにスライドショー生成オプションを設けるステップを含み得る。いくつかの実施形態では、イベントページにおいて少なくとも1つの写真を受け取るステップは、ソーシャルネットワークの複数の1人または複数のメンバーから少なくとも1つの写真を受け取るステップを含み得る。いくつかの実施形態では、表示するステップは、少なくとも1つの写真を表示する方式を決定するように構成される、写真表示論理に少なくとも一部基づき得る。いくつかの実施形態では、写真表示論理は写真省略論理を含み得る。少なくとも1つの写真は、イベントの名前、提供者の名前、提供者の画像、作成時間、作成の相対的な時間のうちの1つまたは複数の表示を含み得る。いくつかの実施形態では、表示するステップはイベントの後に行われ得る。動作は、少なくとも1つの写真と関連付けられる社会的なコメントを有効にするステップを含み得る。動作はさらに、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーの限定された部分集合に対して、イベントページへのアクセスを許可するステップを含み得る。

【0009】

1つまたは複数の実装形態の詳細が、添付の図面および以下の説明に記載される。他の特徴および利点が、説明、図面、および特許請求の範囲から明らかになるであろう。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本開示のある実施形態による、スライドショー生成処理を実行するコンピューティングデバイスを含む、分散型コンピューティングネットワークの線図である。

【図2】本開示のスライドショー生成処理と一致する動作のフローチャートである。

【図3】図1のスライドショー生成処理と関連付けられるイベントページの線図である。

【図4】図1のスライドショー生成処理にアップロードされる写真の線図である。

【図5】図1のスライドショー生成処理にアップロードされる写真の線図である。

【図6】図1のスライドショー生成処理に従って表示されるクレジットページの線図であ

10

20

30

40

50

る。

【図7】本明細書で説明されるスライドショー生成処理に従って使用され得る、コンピューティングシステムの線図である。

【発明を実施するための形態】

【0011】

様々な図面における同様の参照記号は同様の要素を示す。

【0012】

図1を参照すると、スライドショー生成処理10が示されている。以下の議論では、スライドショー生成処理10が様々な方法で実施され得ることが理解されることが意図される。たとえば、スライドショー生成処理10は、サーバ側処理、クライアント側処理、またはサーバ側/クライアント側処理として実施され得る。

10

【0013】

たとえば、スライドショー生成処理10は、スライドショー生成処理10sを介した純粋なサーバ側処理として実施され得る。あるいは、スライドショー生成処理10は、クライアント側アプリケーション10c1、クライアント側アプリケーション10c2、クライアント側アプリケーション10c3、およびクライアント側アプリケーション10c4のうちの1つまたは複数を介した純粋なクライアント側処理として実施され得る。あるいはまた、スライドショー生成処理10は、クライアント側アプリケーション10c1、クライアント側アプリケーション10c2、クライアント側アプリケーション10c3、およびクライアント側アプリケーション10c4のうちの1つまたは複数と組み合わせられたスライドショー生成処理10sを介した、サーバ側/クライアント側処理として実施され得る。

20

【0014】

したがって、本開示で使用されるようなスライドショー生成処理10は、スライドショー生成処理10s、クライアント側アプリケーション10c1、クライアント側アプリケーション10c2、クライアント側アプリケーション10c3、およびクライアント側アプリケーション10c4の任意の組合せを含み得る。

【0015】

図2も参照すると、また以下でより詳細に論じられるように、スライドショー生成処理10は、1つまたは複数のコンピューティングデバイスを使用して、特定のイベントに対応するイベントページを生成するステップ(102)を含んでよく、このイベントページはソーシャルネットワークと関連付けられる。方法はまた、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーに、イベントページへのアクセスを許可するステップ(104)を含み得る。方法はさらに、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーから、イベントページにおいて少なくとも1つの写真を受け取るステップ(106)と、イベントページにその少なくとも1つの写真を表示するステップ(108)と、イベントページにおいて受け取られた少なくとも1つの写真に少なくとも一部基づいて、スライドショーを生成するステップ(110)とを含み得る。

30

【0016】

スライドショー生成処理10sは、サーバアプリケーションであってよく、コンピューティングデバイス12上に存在してよく、コンピューティングデバイス12によって実行されてよく、コンピューティングデバイス12はネットワーク14(たとえば、インターネットまたはローカルエリアネットワーク)に接続され得る。コンピューティングデバイス12の例は、限定はされないが、パーソナルコンピュータ、サーバコンピュータ、一連のサーバコンピュータ、ミニコンピュータ、メインフレームコンピュータ、または専用ネットワークデバイスを含み得る。

40

【0017】

コンピューティングデバイス12に結合される記憶デバイス16に記憶され得る、スライドショー生成処理10sの命令セットおよびサブルーチンは、コンピューティングデバイス12内に含まれる1つまたは複数のプロセッサ(図示されず)および1つまたは複数のメモリアーキテクチャ(図示されず)によって実行され得る。記憶デバイス16の例は、限定はされない

50

が、ハードディスクドライブ、テープドライブ、光学ドライブ、RAIDデバイス、NASデバイス、ストレージエリアネットワーク、ランダムアクセスメモリ(RAM)、読取り専用メモリ(ROM)、およびすべての形態のフラッシュメモリ記憶デバイスを含み得る。

【 0 0 1 8 】

ネットワーク14は、1つまたは複数の二次的ネットワーク(たとえば、ネットワーク18)に接続されてよく、二次的ネットワークの例は、限定はされないが、たとえば、ローカルエリアネットワーク、ワイドエリアネットワーク、またはイントラネットを含み得る。

【 0 0 1 9 】

クライアント側アプリケーション10c1、10c2、10c3、10c4の例は、限定はされないが、ウェブブラウザ、ゲームコンソールのユーザインターフェース、テレビのユーザインターフェース、または特別なアプリケーション(たとえば、モバイルプラットフォーム上で実行されるアプリケーション)を含み得る。クライアント電子デバイス28、30、32、34に(それぞれ)結合される記憶デバイス20、22、24、26に(それぞれ)記憶され得る、クライアント側アプリケーション10c1、10c2、10c3、10c4の命令セットおよびサブルーチンは、クライアント電子デバイス28、30、32、34に(それぞれ)組み込まれた、1つまたは複数のプロセッサ(図示されず)および1つまたは複数のメモリアーキテクチャ(図示されず)によって実行され得る。記憶デバイス20、22、24、26の例は、限定はされないが、ハードディスクドライブ、テープドライブ、光学ドライブ、RAIDデバイス、ランダムアクセスメモリ(RAM)、読取り専用メモリ(ROM)、およびすべての形態のフラッシュメモリ記憶デバイスを含み得る。

【 0 0 2 0 】

クライアント電子デバイス28、30、32、34の例は、限定はされないが、デスクトップコンピュータ28、ラップトップコンピュータ30、データ対応携帯電話32、ノートブックコンピュータ34、サーバコンピュータ(図示されず)、個人用ゲームデバイス(図示されず)、データ対応テレビコンソール(図示されず)、個人向け音楽プレイヤー(図示されず)、および専用ネットワークデバイス(図示されず)を含み得る。クライアント電子デバイス28、30、32、34は各々オペレーティングシステムを実行してよく、オペレーティングシステムの例は、限定はされないが、Microsoft Windows(登録商標)、Android(登録商標)、WebOS、iOS(登録商標)、Redhad Linux(登録商標)、またはカスタムオペレーティングシステムを含み得る。

【 0 0 2 1 】

ユーザ36、38、40、42は、ネットワーク14または二次的ネットワーク18を通じて直接、スライドショー生成処理10にアクセスすることができる。さらに、スライドショー生成処理10は、リンク線44を介して二次的ネットワーク18を通じてアクセスされ得る。

【 0 0 2 2 】

様々なクライアント電子デバイス(たとえば、クライアント電子デバイス28、30、32、34)は、ネットワーク14(またはネットワーク18)に直接または間接的に結合され得る。たとえば、デスクトップコンピュータ28は、有線のネットワーク接続を介してネットワーク14に直接結合されるように示されている。ラップトップコンピュータ30は、ラップトップコンピュータ30(それぞれの)と、ネットワーク14に直接結合されるように示されているワイヤレスアクセスポイント(すなわち、WAP)48との間で確立されている、ワイヤレス通信チャンネル46を介して、ネットワーク14にワイヤレスに結合されるように示されている。WAP 48は、たとえば、IEEE 802.11a、802.11b、802.11g、802.11n、Wi-Fi、および/または、ラップトップコンピュータ30とWAP 48との間でワイヤレス通信チャンネル46を確立することが可能なBluetooth(登録商標)デバイスであってよい。さらに、データ対応携帯電話32は、データ対応携帯電話32と、ネットワーク14に直接結合されるように示されているセルラーネットワーク/ブリッジ52との間で確立されている、ワイヤレス通信チャンネル50を介して、ネットワーク14にワイヤレスに結合されるように示されている。加えて、ノートブックコンピュータ34は、有線のネットワーク接続を介してネットワーク18に直接結合されるように示されている。

【 0 0 2 3 】

スライドショー生成処理10は、ソーシャルネットワーク54と対話するように構成され得る。ソーシャルネットワーク54の例は、限定はされないが、Google+、Facebook（登録商標）などを含み得る。したがって、スライドショー生成処理10は、ソーシャルネットワーク54の一部となるように/ソーシャルネットワーク54内に含まれるように構成され得る。あるいは、スライドショー生成処理10は、ソーシャルネットワーク54と(たとえばAPIを介して)対話する、スタンドアロンの処理となるように構成され得る。ソーシャルネットワーク54は、ユーザ(たとえば、ユーザ36、38、40、42)がソーシャルネットワーク54を介して1つまたは複数のロボット(たとえば、ロボット56)と通信すること、および/またはロボットを制御することを可能にするように構成され得る。

10

【 0 0 2 4 】

[スライドショー生成処理]

上で論じられたように、および図2～図7も参照すると、スライドショー生成処理10は、イベントからアップロードされた写真および/または画像のすべてまたは一部を、たとえばリアルタイムで、動的に更新されるスライドショーにおいて、作成および表示することを可能にし得る。図3～図6は、スライドショー生成処理10と関連付けられる例示的なスクリーンショットを示す。このようにして、写真400、500、さらにはクレジットページ600も生成され得る。

【 0 0 2 5 】

本明細書で説明されるスライドショー生成処理は、1つまたは複数のソーシャルネットワークアプリケーションとともに使用され得る。たとえば、あるイベントの間に、人々が写真を撮るにつれて流れてくるライブストリームからの写真の一部またはすべてを見ることが可能になり得る。本明細書で説明されるスライドショー生成処理は、大量の写真とイベントを生で放映している多数のテレビ画面とが存在する、オリンピックのような大規模なイベントのような状況に対して最適化された、ライブストリームスライドショーを可能にし得る。加えて、および/または代替的に、スライドショー生成処理10は、参加できない遠くにいる出席者、たとえば、遠くの場所から自分の姪の誕生日パーティを見ている叔母との私的なイベントのために使用され得る。

20

【 0 0 2 6 】

ここで図3を参照すると、スライドショー生成処理10と関連付けられる例示的なイベントページのスクリーンショット300が与えられる。したがって、スライドショー生成処理10は、特定のイベントに対応するイベントページ300を生成する(102)ように構成され得る。この特定の実施形態では、イベントページ300はソーシャルネットワークと関連付けられ得る。図3に示されるように、イベントページ300は、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーにイベントページ300へのアクセスを許可する(104)ように構成され得る。たとえば、いくつかの例では、招待された人だけが参加できるように、かつ/またはイベントページ300にアクセスできるように、ソーシャルネットワークのメンバーの部分集合に招待状が送信され得る。

30

【 0 0 2 7 】

いくつかの実施形態では、イベントページ300は、ユーザのソーシャルネットワークページから直接アクセスされ得る。たとえば、イベントページ300へのリンクが、電子メールリンクを介して、または任意の適切な方法を使用して、ユーザのソーシャルネットワークページ上で提供され得る。いくつかの実施形態では、招待を受け入れたユーザ(たとえば、出席しており現在イベントページ300を見ているユーザ)が、イベントページ300に示され得る。

40

【 0 0 2 8 】

スライドショー生成処理10は、ソーシャルネットワークの1人または複数のメンバーから、イベントページ300において少なくとも1つの写真(たとえば、302、304など)を受け取る(106)ように構成され得る。図3に示されるように、写真は、イベントの様々な出席者によってアップロードされ得る。出席者の個人情報もイベントページに表示され得る。たと

50

えば、出席者のプロフィール写真、名前、識別情報、写真に関する個人的なコメントなども含まれ得る。スライドショー生成処理10は、図3に示されるように、イベントページ300に写真(たとえば、302、304など)を表示する(108)ことができる。いくつかの実施形態では、写真自体が、様々な情報の表示を含んでよく、それらの情報の一部は、限定はされないが、イベントの名前、提供者の名前、提供者の画像、作成時間、および作成の相対的な時間を含み得る。

【0029】

本明細書で説明されるスライドショー生成処理の実施形態は、イベントページ300と関連付けられる「スライドショーとして見る」ボタンまたはリンク306を含み得る。このようにして、ユーザ、たとえばユーザ46、48、50、52の1人または複数が、クライアントアプリケーション22、24、26、28の1つまたは複数を使用して、「スライドショーとして見る」リンクにアクセスすることができる。いくつかの実施形態では、上で論じられたように、クライアントアプリケーションはソーシャルネットワーキングアプリケーションであってよい。

【0030】

したがって、スライドショー生成処理10は、イベントページ300で受け取られた少なくとも1つの写真に少なくとも一部基づいて、スライドショーを生成する(108)ように構成され得る。このようにして、リンク306を選択すると、スライドショー生成処理10は、図4～図6に示されたもののような、1つまたは複数の写真を表示することができる。写真の表示および/またはスライドショーの生成は、イベントが終了する前、イベントの間、またはイベントが終了した後に実行され得る。

【0031】

スライドショー生成処理10の実施形態は、様々な異なるオプションを提供することができ、ユーザはそれらのオプションを選ぶことが可能であり得る。いくつかのオプションは、限定はされないが、ブラウザの制御を伴わずに(図4～図6に示されるように)フルスクリーンにするのを可能にすること、および一度に1つまたは複数の写真を表示するのを可能にすることを含み得る。加えて、および/または代替的に、(たとえば、広告を提供することなどのために)各写真の上部に商標付きの領域が配置され得る。スライドショー生成処理10はまた、省略されたイベントの名前、提供者の顔および名前、いつアップロードされたか(たとえば、作成時間のスタンプおよび/または相対的な時間(たとえば、たった今-<1分、n分前など))を提供することができる。

【0032】

スライドショー生成処理10の実施形態は、1つまたは複数のスライドショーの制御を行うステップを含んでよく、これは、個人設定されたスライドショー体験を可能にするように構成され得る。たとえば、いくつかのスライドショー制御は、限定はされないが、徐々に消えていく進むボタンまたは戻るボタン、写真当たりの事前に準備されている速度(たとえば、3秒など)、ユーザ設定、マウスの動き(たとえば、再開/終了を示す、進む/戻るを示すなど)、およびスライドショーを閉じること(たとえば、エスケープ、終了など)を含み得る。

【0033】

スライドショー生成処理10の実施形態は、写真表示論理を含み得る。いくつかの実施形態では、写真表示論理は、少なくとも1つの写真を表示する方式を決定するように構成され得る。たとえば、スライドショー生成処理は、アップロードされた最新の写真から開始し得る。この特定の例では、写真は、ある固定された秒数、たとえば、デフォルトでは4秒の間表示され得る。いくつかの実施形態では、スライドショーは、特定の期間にアップロードされた写真の数に応じて、密集した状態と動きの少ない状態のいずれかにあり得る。

【0034】

たとえば、スライドショーが5分かかると仮定する。写真表示論理は、以下の方式で動作し得る。5分の間隔に収めるには写真が多すぎる場合、スライドショーは密集し得る。

このようにして、スライドショー生成処理10は、写真がスライドショーに収まるように写真を省略することができる。5分の間隔を埋めるには写真が少なすぎる場合、スライドショーは、すべてのスライドを見せるために動きが少なくなる。スライドショーが終了すると、新たな写真がなければ、密集していた期間において以前に省略された写真を見せる。この期間に新たな写真が到着した場合、この写真に直接移行する。省略された写真を含めて表示すべき新たな写真がまったくない場合、最後の写真で15秒静止し、クレジットページ(図6参照)を、それが最近10分以内に表示されていなければ、30秒間表示する。それでもまだ新たな写真がなければ、スライドショーの再生を最初から開始する。

【0035】

いくつかの実施形態では、スライドショー生成処理は、写真省略論理を含み得る。たとえば、密集した期間がある(すなわち、写真が多すぎる)例では、以下のアルゴリズムが使用され得る。

【0036】

N=写真の数、t=各写真が表示される秒数である場合、

【0037】

If $300/N < t$ then:

【0038】

$p = \text{div}(N, \text{div}(300, t))$

【0039】

show(見せる)[photo(写真)(0), photo(p), photo(2*p), ... photo(75*p)]

【0040】

else:

【0041】

show every photo (すべての写真を見せる)

【0042】

スライドショー生成処理10の実施形態はまた、図6に示されるようなクレジットページを含み得る。したがって、クレジットページ600は、たとえば、動作の呼びかけ「もっと写真を撮りましょう!」、イベントに写真を提供したユーザのリストなどを含み得る。イベントが現在行われている場合、スライドショー生成処理10は、イベントページの具体的なURLを指すQRコード(登録商標)を示すことができる。いくつかの実施形態では、URLは、それを開いた任意のユーザが自動的にイベントに招待され写真の提供を開始できるように、多目的の招待トークンを含み得る。

【0043】

スライドショー生成処理10の実施形態は、イベントが終了した後に行われるスライドショーを可能にし得る。たとえば、イベントが終了した後で、スライドショーはより一層、一般的なスライドショーのように振る舞い得る。たとえば、イベント後のスライドショーは、任意の適切な手法を使用することから起動されることが可能であり、現在の写真の束(たとえば、イベントのハイライト、年代順など)の表示を進めることができる。いくつかの実施形態では、イベント後のスライドショーは、動きの少ない期間も密集した期間もない論理を除いて、イベントのスライドショーの間のすべての特性を含み得る。

【0044】

スライドショー生成処理10の実施形態は、少なくとも1つの写真と関連付けられる社会的なコメントを可能にするように構成され得る。たとえば、イベント後のスライドショーは、コメントおよび+1カウントのような社会的証明をサポートすることができ、スライドショーを停止するためのクイック+1でもあり得る。イベント後のスライドショーの終わりには、「ありがとう、もっと写真を撮りましょう」のページ、最初に戻るためのオプションを含んでよく、かつある規定された量の時間(たとえば、2分)の後で自動的に戻り得る。

【0045】

スライドショー生成処理の実施形態は、図1に示されるもののような、1つまたは複数の

10

20

30

40

50

モバイルデバイスとともに動作するように構成され得る。加えて、および/または代替的に、スライドショー生成処理は、スライドショー制御を含んでよく、スライドショー制御のいくつかは、限定はされないが、速度の選択(たとえば、低速-5秒、中速(デフォルト)-2.5秒、高速-1秒)、最初に飛ぶ、最後に飛ぶ、などを含み得る。

【0046】

図7も参照すると、コンピューティングシステム12の線図が示されている。コンピューティングシステム12がこの図で示されるが、これは例示のためのみのものであり、他の構成が可能であるので、本開示の限定であることは意図されない。たとえば、画像比較処理10を全体または一部実行することが可能な任意のコンピューティングデバイスが、図7の中のコンピューティングデバイス12の代わりにされてよく、その例は、限定はされないが、クライアント電子デバイス28、30、32、34を含み得る。

10

【0047】

コンピューティングシステム12は、たとえば画像比較処理10のためにデータを処理しかつ命令/コードを実行するように構成される、マイクロプロセッサ750を含み得る。マイクロプロセッサ750は、記憶デバイス16に結合され得る。上で論じられたように、記憶デバイス16の例は、限定はされないが、ハードディスクドライブ、テープドライブ、光学ドライブ、RAIDデバイス、NASデバイス、ストレージエリアネットワーク、ランダムアクセスメモリ(RAM)、読取り専用メモリ(ROM)、およびすべての形態のフラッシュメモリ記憶デバイスを含み得る。IOコントローラ752は、キーボード756、マウス758、USBポート(図示されず)、プリンタポート(図示されず)などの様々なデバイスとマイクロプロセッサ750を結合するように構成され得る。ディスプレイアダプタ760は、ディスプレイ762(たとえば、CRTまたはLCDモニタ)をマイクロプロセッサ750と結合するように構成されてよく、ネットワークアダプタ764(たとえば、イーサネット(登録商標)アダプタ)は、マイクロプロセッサ750をネットワーク14(たとえば、インターネットまたはローカルエリアネットワーク)に結合するように構成されてよい。

20

【0048】

当業者により理解されるように、本開示は、方法(たとえば、コンピューティングデバイス12で全体または一部が実行される)、システム(たとえば、コンピューティングデバイス12)、またはコンピュータプログラム製品(たとえば、記憶デバイス16内に符号化される)として具現化され得る。したがって、本開示は、完全なハードウェア実施形態、完全なソフトウェア実施形態(ファームウェア、常駐ソフトウェア、マイクロコードなどを含む)、または、すべてが本明細書では「回路」、「モジュール」、または「システム」と全般に呼ばれ得る、ソフトウェアとハードウェアの態様を組み合わせた実施形態の形式をとり得る。さらに、本開示は、媒体中に具現化されたコンピュータ使用可能プログラムコードを有する、コンピュータ使用可能記憶媒体(たとえば、記憶デバイス16)上のコンピュータプログラム製品の形式をとり得る。

30

【0049】

任意の適切なコンピュータ使用可能媒体またはコンピュータ可読媒体(たとえば、記憶デバイス16)が利用され得る。コンピュータ使用可能媒体またはコンピュータ可読媒体は、たとえば限定はされないが、電子式、磁気式、光学式、電磁式、赤外線式、または半導体のシステム、装置、デバイス、または伝搬媒体であり得る。コンピュータ可読媒体のより具体的な例(非網羅的なリスト)は、1つまたは複数の配線を有する電気接続、ポータブルコンピュータディスク、ハードディスク、ランダムアクセスメモリ(RAM)、読取り専用メモリ(ROM)、消去可能プログラム可能読取り専用メモリ(EEPROMまたはフラッシュメモリ)、光ファイバ、ポータブルコンパクトディスク読取り専用メモリ(CD-ROM)、光学記憶デバイス、インターネットまたはイントラネットをサポートする送信媒体のような送信媒体、または磁気記憶デバイスを含み得る。コンピュータ使用可能媒体またはコンピュータ可読媒体はまた、プログラムが印刷される紙または別の適切な媒体であってよく、それは、プログラムが、たとえば紙または他の媒体の光学的なスキャンを介して電子的に記録され、次いでコンパイルされ、翻訳され、または別様に適切な方式で処理されて、必要で

40

50

あれば、次いでコンピュータメモリに記憶され得るからである。本文書の文脈では、コンピュータ使用可能媒体またはコンピュータ可読媒体は、命令実行システム、装置、またはデバイスによって使用される、またはそれらに関連するプログラムを、格納し、記憶し、通信し、伝搬し、または移送することができる、任意の媒体であり得る。コンピュータ使用可能媒体は、ベースバンドの中で、または搬送波の一部として、コンピュータ使用可能媒体により具現化されるコンピュータ使用可能プログラムコードを伴う、伝搬されるデータ信号を含み得る。コンピュータ使用可能プログラムコードは、限定はされないが、インターネット、有線、光ファイバケーブル、RFなどを含む、任意の適切な媒体を使用して送信され得る。

【0050】

本開示の動作を実行するためのコンピュータプログラムコードは、Java（登録商標）、Smalltalk、C++などのような、オブジェクト指向プログラミングで書かれ得る。しかしながら、本開示の動作を実行するためのコンピュータプログラムコードは、「C」プログラミング言語または同様のプログラミング言語などの、従来の手続き型プログラミング言語でも書かれ得る。プログラムコードは、全体がユーザのコンピュータ上で、一部がユーザのコンピュータ上で、スタンドアロンのソフトウェアパッケージとして、一部がユーザのコンピュータ上、一部がリモートコンピュータ上で、または全体がリモートコンピュータもしくはサーバ上で実行され得る。後者の状況では、リモートコンピュータは、ローカルエリアネットワーク/ワイドエリアネットワーク/インターネット(たとえば、ネットワーク14)を通じてユーザのコンピュータに接続され得る。

【0051】

本開示は、本開示の実施形態による、方法、装置(システム)、およびコンピュータプログラム製品の、フローチャートの図および/またはブロック図を参照して説明される。フローチャートの図および/またはブロック図の各ブロック、およびフローチャートの図および/またはブロック図におけるブロックの組合せは、コンピュータプログラム製品によって実装され得る。これらのコンピュータプログラム命令は、汎用コンピュータ/専用コンピュータ/他のプログラム可能データ処理装置(たとえば、コンピューティングデバイス12)のプロセッサ(たとえば、プロセッサ750)に提供され得るので、コンピュータのプロセッサ(たとえば、プロセッサ750)または他のプログラム可能データ処理装置を介して実行される命令は、フローチャートおよび/またはブロック図の1つまたは複数のブロックにおいて規定される機能/動作を実施するための手段を作成する。

【0052】

コンピュータ(たとえば、コンピューティングデバイス12)または他のプログラム可能データ処理装置にある特定の方式で機能するように指示し得る、これらのコンピュータプログラム命令も、コンピュータ可読メモリ(たとえば、記憶デバイス16)に記憶され得るので、コンピュータ可読メモリに記憶された命令は、フローチャートおよび/またはブロック図の1つまたは複数のブロック図において規定される機能/動作を実施する命令手段を含む、製造物品を生成する。

【0053】

フローチャートおよび/またはブロック図の1つまたは複数のブロックにおいて規定される機能/動作を実施するためのステップを、コンピュータまたは他のプログラム可能装置上で実行される命令が提供するように、コンピュータで実施される処理を生成するために、一連の動作ステップがコンピュータまたは他のプログラム可能装置上で実行されるようにするための、コンピュータプログラム命令も、コンピュータ(たとえば、コンピューティングデバイス12)または他のプログラム可能データ処理装置にロードされ得る。

【0054】

図面におけるフローチャートおよびブロック図は、本開示の様々な実施形態による、システム、方法、およびコンピュータプログラム製品の可能な実装形態の、アーキテクチャ、機能、および動作を例示し得る。この点において、フローチャートまたはブロック図の中の各ブロックは、規定された論理機能を実装するための1つまたは複数の実行可能命令

10

20

30

40

50

を含む、モジュール、セグメント、またはコードの一部を表し得る。いくつかの代替的な実装形態では、ブロック中に記載された機能は、図面の記載された順序以外で実行され得ることに留意されたい。たとえば、連続して図示される2つのブロックは、実際には、実質的に同時に実行されてよく、またはブロックは、場合によっては、関与する機能に応じて、逆の順序で実行され得る。ブロック図および/またはフローチャートの図の各ブロック、ならびにブロック図および/またはフローチャートの図の中のブロックの組合せは、規定された機能もしくは動作、または専用ハードウェアとコンピュータ命令の組合せを実行する、専用のハードウェアベースのシステムによって実装され得ることに留意されたい。

【0055】

10

本明細書で使用される用語は、特定の実施形態のみを説明することを目的としており、本開示を限定することは意図されない。本明細書で使用される場合、単数形「a」、「an」、および「the」は、別段文脈が明確に示さない限り、複数形も含むことが意図される。本明細書で使用される場合、「含む」および/または「含んでいる」という用語は、述べられた特徴、整数、ステップ、動作、要素、および/またはコンポーネントの存在を規定するが、1つまたは複数の他の特徴、整数、ステップ、動作、要素、コンポーネント、および/またはこれらのグループの存在または追加を排除しないことがさらに理解されるだろう。

【0056】

対応する構造、材料、動作、および、以下の特許請求の範囲におけるすべてのmeans plus functionまたはstep plus functionの要素の等価物は、具体的に特許請求されるような他の特許請求される要素と組み合わせてその機能を実行するための、任意の構造、材料、または動作を含むことが意図される。本開示の説明は、例示および説明のために提示されているが、網羅的であること、または開示された形式の開示に限定されることは意図されていない。本開示の範囲および趣旨から逸脱することなく、多くの修正および変更が当業者には明らかであろう。実施形態は、本開示の原理および実際の適用形態を最良に説明するために、および、他の当業者が、企図される特定の使用法に適するような様々な修正を伴う様々な実施形態の開示を理解できるようにするために、選択され説明された。

20

【0057】

本出願の開示を詳細に、およびその実施形態を参照してこのように説明してきたので、添付の特許請求の範囲で定義される本開示の範囲から逸脱することなく、修正および変更が可能であることが明らかである。

30

【符号の説明】

【0058】

- 10C1 クライアント側アプリケーション
- 10C2 クライアント側アプリケーション
- 10C3 クライアント側アプリケーション
- 10C4 クライアント側アプリケーション
- 10S スライドショー生成処理
- 12 コンピューティングデバイス
- 14 ネットワーク
- 16 記憶デバイス
- 18 ネットワーク
- 20 記憶デバイス
- 22 記憶デバイス
- 24 記憶デバイス
- 26 記憶デバイス
- 28 クライアント電子デバイス
- 30 クライアント電子デバイス
- 32 クライアント電子デバイス

40

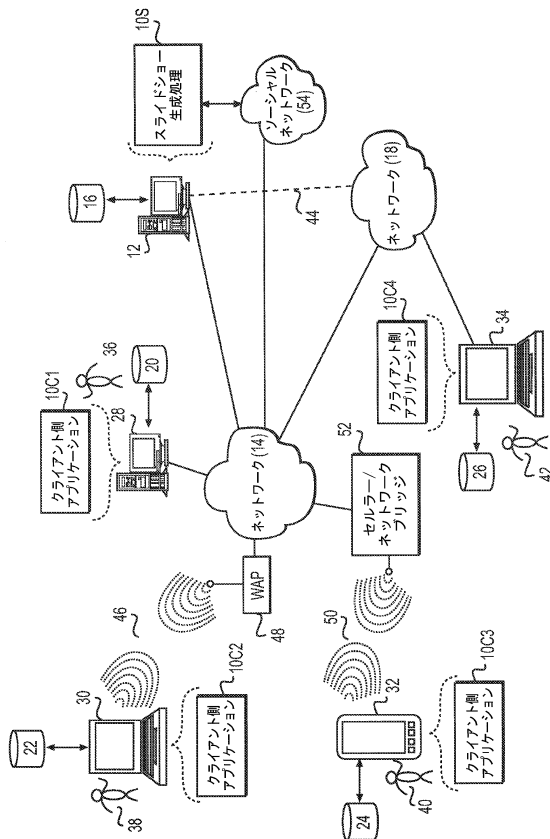
50

- 34 クライアント電子デバイス
- 36 ユーザ
- 38 ユーザ
- 40 ユーザ
- 42 ユーザ
- 44 リンク線
- 46 ワイヤレス通信チャネル
- 48 WAP
- 50 ワイヤレス通信チャネル
- 52 セルラー/ネットワークブリッジ
- 54 ソーシャルネットワーク
- 300 イベントページ
- 302 写真
- 304 写真
- 306 リンク
- 400 写真
- 500 写真
- 600 クレジットページ
- 750 マイクロプロセッサ
- 752 I/Oコントローラ
- 756 キーボード
- 758 マウス
- 760 ディスプレイアダプタ
- 762 ディスプレイ
- 764 ネットワークコントローラ

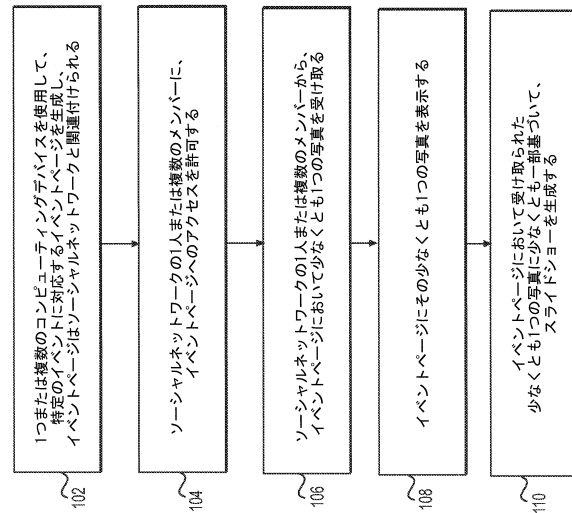
10

20

【図 1】

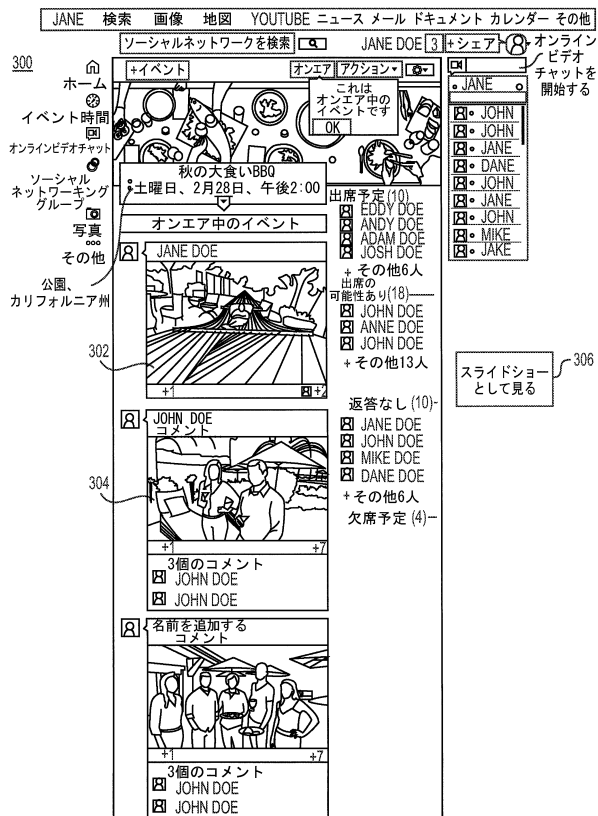


【図 2】

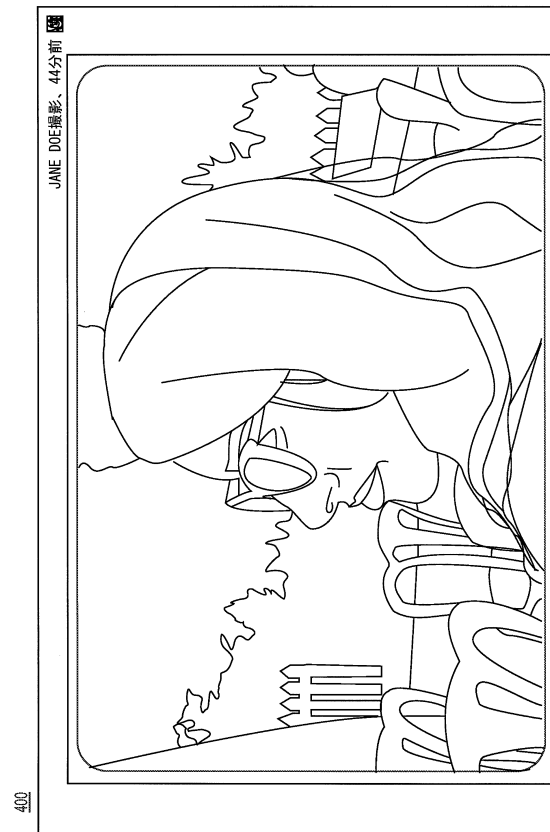


10

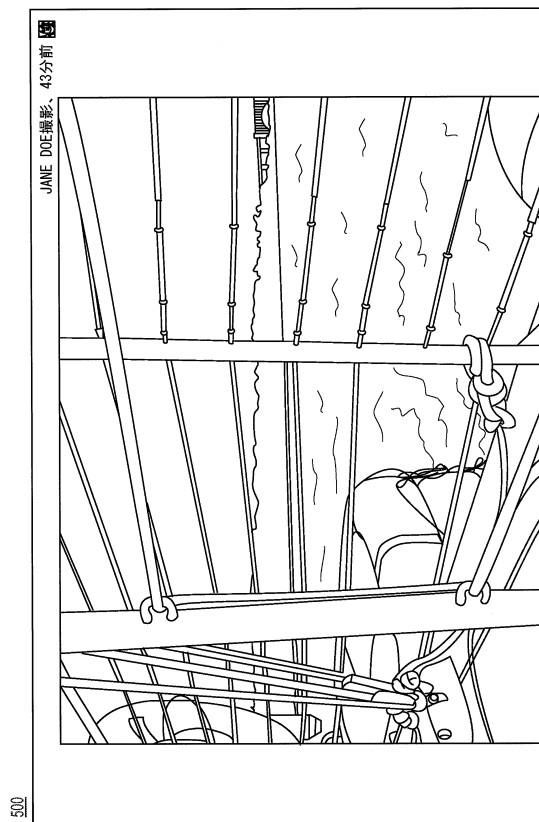
【図 3】



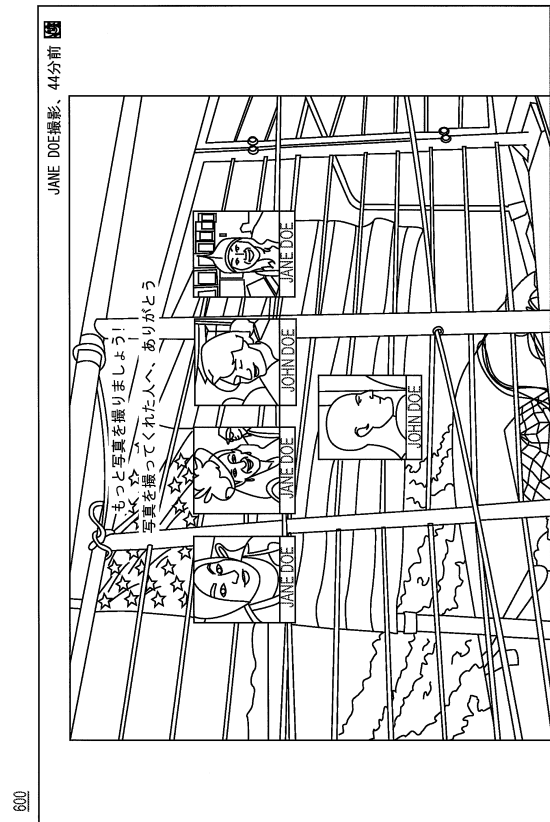
【図 4】



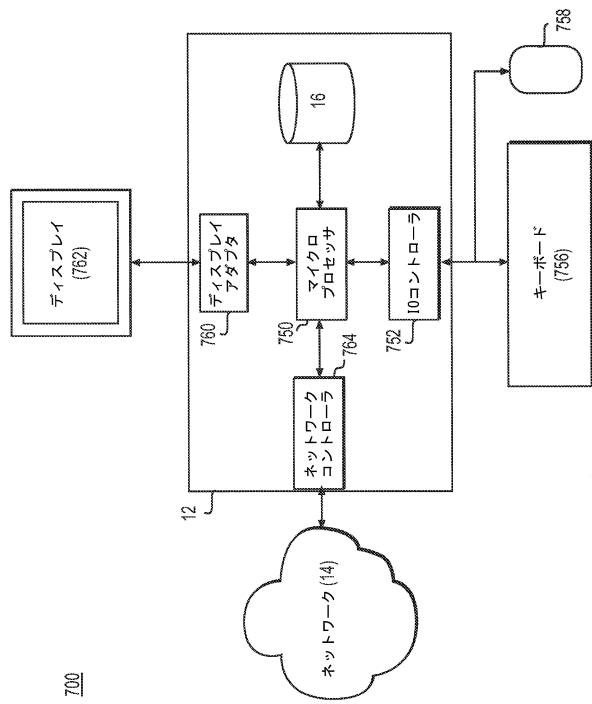
【図 5】



【図 6】



【図 7】



フロントページの続き

- (72)発明者 エーージェイ・アシュヴァー
アメリカ合衆国・カリフォルニア・94043・マウンテン・ビュー・アンフィシアター・パーク
ウェイ・1600
- (72)発明者 ヴィンセント・モー
アメリカ合衆国・カリフォルニア・94043・マウンテン・ビュー・アンフィシアター・パーク
ウェイ・1600
- (72)発明者 アンティン・ハラシミフ
オーストラリア・ニュー・サウス・ウェールズ・2009・ピルモント・ビラーマ・ロード・48
・グーグル・オーストラリア・ピーティーワイ・リミテッド・レベル・5
- (72)発明者 デニース・ホー
アメリカ合衆国・カリフォルニア・94043・マウンテン・ビュー・アンフィシアター・パーク
ウェイ・1600
- (72)発明者 ザカリー・イエスケル
アメリカ合衆国・カリフォルニア・94043・マウンテン・ビュー・アンフィシアター・パーク
ウェイ・1600
- (72)発明者 ニコラス・ゴードン・フェイ
アメリカ合衆国・カリフォルニア・94043・マウンテン・ビュー・アンフィシアター・パーク
ウェイ・1600

審査官 坂東 博司

- (56)参考文献 米国特許出願公開第2005/0235062(US, A1)
米国特許出願公開第2011/0218998(US, A1)
米国特許出願公開第2007/0250496(US, A1)
米国特許第07853483(US, B2)
米国特許出願公開第2012/0030282(US, A1)
米国特許出願公開第2006/0064639(US, A1)
国際公開第2011/123546(WO, A2)
特表2013-524348(JP, A)
特表2011-530875(JP, A)
特開2011-078139(JP, A)
特開2009-118117(JP, A)
特開2007-243572(JP, A)
再公表特許第2007/055334(JP, A1)
特開2010-250236(JP, A)
特開2005-348371(JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06F 13/00
H04N 5/93
H04N 9/87